

～研修医日記～

Vol.17 『外科医にとっての「せいけつ」とは……？』 —単細胞研修医編—

私(単細胞研修医)は当院の外科研修で2カ月回らせていただいて、外科の先生方の知識、経験、技術を少しでも吸収するべく日々働いていた。ただ私は研修医の中でも特に不器用で言葉の意味を履き違えて物事をそのまま受け取り失敗することも多々ある単細胞という一面がある。そんな私でも優しく受け入れて時に厳しく、時に愛のある指導をいただいた。単細胞な私でも2か月前と違って今では少し顔つきが凜々しくなったのではないかと自分でも感じた。そんな研修生活の様子を紹介させていただく。

11月X日研修第1週のとある1場面

アルコール上級医:「君が今回研修で回ってきた単細胞研修医君やね。」

単細胞研修医:「はい、よろしくお願いします！」

アルコール上級医:「ところで、外科医が一番大切にしているものはなにか知っている？」

単細胞研修医:「う～ん、愛すべき家庭ですか？(きまった!)」

アルコール上級医:「違う！いや違わないけどマジメかっ！？笑」

単細胞研修医:「……じゃあ、部下がSかMかってことですか？？」

アルコール上級医:「(それメッチャ大事～～～！！……でもあからさまには言えない……🍷)
……アフターファイブと週末やん！！」

単細胞研修医:「マジっすか??」

アルコール上級医:「冗談、冗談……正解はね、『せいけつ』であることなんよ！！他のことでは適当なこともあるかもやけど(ほとんどテキトーですけど……🍷)、せいけつであることに関しては外科医はうるさいよ～～」

単細胞研修医:「ア～ナルほど……『せいけつ』ですね！せいけつであることが手術の成功につながるんですね！」

アルコール上級医:「アタシなんかねえ、『せいけつ』を保つにはまずは体内からと考えてるから、アフターファイブと週末は経口的大量アルコール洗浄をして大腸菌どもをぶっ飛ばしてんのよ～～～！！！」

単細胞研修医:「……………💧💧」

(…………たしかに外科の先生たちは皆どっしりとされている。そういえば尻の穴が小さいって度量が小さいって意味だったよなあ……どっしりするためには経口

的ア(ナ)ルコール洗淨で尻の穴まできれいにし、さらに穴を大きくしろってことなのか！先生たちはプライベートでの鍛錬も欠かしてないんだ！💡)

単細胞研修医:「分かりました！常日頃から『せいけつ』に気をつけてみます。」

こうして私の外科研修生活が始まったのである。

12月X日 とあなる手術での1場面

アルコール上級医:「単細胞研修医君、最近はカメラの操作がよくなってきたね？」

単細胞研修医:「ありがとうございます！先生の指導のおかげです」

アルコール上級医:「何かきっかけとかあったん？」

単細胞研修医:「(うっ💧…………趣味の盗撮でカメラワークの腕を鍛えてます！なんて口が裂けても言えない…………💧)やっぱり先生の言っていた『せいけつ』に気をつけるようになったからですね。意識して研修できたのが大きいと思います！」

アルコール上級医:「それはよかった」

単細胞研修医:「でも先生、これ以上はぼくの財布がすり減りそうです。アルコール代もそうですが、やっぱり肛門エステの60分1万円コースはぼくの身の丈には合わなかったです。でも少しでも先生たちに追いつきたいくて…………どこか安い店を紹介してもらえませんか？😞」

アルコール上級医:「先生は何を言うてんの??」

単細胞研修医:「えっ!?!『せいけつ』って尻をきれいにし穴を広げるってことですよ？それが手術の集中力をあげる秘訣なんじゃ…………」

アルコール上級医:「…………(コイツ、Mの素質あるんとちゃうかな?)」

他の医療スタッフ:「…………💧」

(しまった！他の医療スタッフに聞かれてしまった！そんな手術の秘訣なんておいそれと他の人に聞かれてしまっははいけないのに。ぼくはそんな外科医のトップシークレットを何も考えずに言ってしまった。ほんとうにぼくはバカだ！)

単細胞研修医:「先生すみません、他のみなさんも今言ったことは忘れてください。」

単細胞研修医:(小声で)「先生、手術の秘訣ですもんね。大きな声で言ってしまってすみません💧」

呆れ顔のアルコール上級医:「君には『せいけつ』についてのSMレッスンが必要そうやね…………(Sの)このアタシがみっちり指導してあげるわ❤️」

周りを見渡すと他のスタッフから冷ややかな目で見られており、アルコール上級医からたしなめら

れた。そんな緊張感のある？手術だったが、手術は無事成功。冷ややかな目で見られた時はちょっとゾクゾクし、アルコール上級医のヒールのかかとでグリグリされたい願望も芽生えつつ、心なしかその一幕以降の方がカメラの動きはスムーズであった。こんな私ってMなんだろうか？？

エピローグ

私の外科研修は無事？に終了した。

ただこれ以降病棟や手術室のスタッフから見る目が変わったように思う。

そういえば手術の待機時に看護師から


「単細胞研修医先生って、他の研修医と雰囲気とか違ってますよね？」

と言われたことがあった。

外科の先生たちからの愛ある指導を受けてより成長できたからそういった雰囲気も他の人たちに伝わったと嬉しく感じた。

この場を借りて外科の先生たちには心より感謝を申し上げる。

【変集者後記】

外科医の肛門はせいけつだがゆるい…………この研修医は世界中の外科医に喧嘩を売っているのであろうか？？

上司が唱える『せいけつ』のまさに言葉じりを取り違えて、誤って努力を惜しまない姿は自己アピールでもあるように実に単細胞で、愛おしくて微笑ましい。

本文中では周囲の冷ややかな視線を理解できていたように見えたが、エピローグでは『雰囲気違うよ！』とヤバさを指摘されているにもかかわらず嬉しがり、外科医に感謝をしているところがいかなとも理解しがたい点ではあるが、本人が気分良くしているようなのでそっとしておこう……………
(合掌)

